



UNISONプロジェクト：CanSatキット化プロジェクト参加要綱

1. CanSat キット化プロジェクトの意義

衛星側の大学にとって、CanSat は今や新入生のトレーニングプロジェクトとなるまでになりました。CanSat は比較的容易な技術を用いて製作が可能でありながら、衛星の基本機能を有するという特徴あるものであり、ものづくりの第一歩としても、衛星とは何かを知るための導入としても大きな役割を果たすものです。

しかし今のところ、CanSat を自分ひとりで気軽に製作できる段階にはありません。しかしこれが可能になれば、新入生のトレーニングにかかる労力の削減につながるほか、広く一般の人が製作することで衛星についての理解も深まります。高校などでの物理工作キットにも採用されるかもしれません。ロケット側の学生も衛星に触れるいい機会になります。

今年はこのキット化を目指し、基本機能を備えた CanSat の製作を目指します。来年以降も UNISON 主催の CanSat プロジェクトとして存続し、研究室では製作できない学生に機会を与えるようにしたいと考えています。

2. 参加資格

UNISEC 加盟団体に所属する学生であること。

製作する全日程に基本的に参加できること（ ）。

国内で秋に開催予定の CanSat コンペに運営委員または準備委員として参加できること。

集中的に行うプロジェクトであるため全日程参加を基本としますが、やむをえない事情があって一部に参加できない場合には個別にご相談ください。

3. 計画から実行までの流れ

8月中旬

ミッションについてメールベースで話し合います。

8月下旬

必要な部品などをリストアップし、購入を行い、製作の準備を進めます。

8/30(月) ~ 9/3(金)(4,5日を予備日とします)

1週間で集中的に製作を行い、完成させます。間に合わない場合には別途調整します。製作場所は東京となっていますのでご了承ください。

製作完了後

製作完了後に気球実験を計画しています。また、ARLISS・CanSat 国内コンペへも参加する予定です。国内コンペでは、このプロジェクトの参加者に運営委員をやっていただきます。

4. プロジェクト資金について

プロジェクト資金については、主に CanSat 製作費に用います。宿泊等に関しましては友人宅を利用するなど各自で調整していただきますが、あてがない場合はアレンジできることもありますので、まずはご相談ください。交通費等の支出については未定ですが、遠方の方は領収書（UNISEC 宛にすること）を必ず取っておいてください。

5. 応募方法

応募用紙に記入し、cansat_kit@unisec.jp までメールに添付してお送りください。基本的には申し込めば参加いただけますが、諸事情により参加をお断りする場合もありますのでご了承ください。

プロジェクト責任者：土屋美乃（慶應大学）

連絡先： cansat_kit@unisec.jp